

4年 4 解説	式による表現	____年 ____組 名前
------------------------------------	---------------	-------------------

$70 - (13 + 8)$

()のある式では、()の中をひとまとまりとみて、先に計算します。

$$70 - (13 + 8) = 70 - \overset{\text{①の答え}}{21}$$

$$\underbrace{\hspace{1.5cm}}_{\text{②}} = \overset{\text{②の答え}}{49}$$

$13 + 2 \times 4$

式の中のかけ算やわり算は、たし算やひき算より先に計算します。

$$13 + 2 \times 4 = 13 + \overset{\text{①の答え}}{8}$$

$$\underbrace{\hspace{1.5cm}}_{\text{②}} = \overset{\text{②の答え}}{21}$$

$70 - (13 + 2 \times 4)$

① ()の中をひとまとまりとみて、先に計算するので、 $13 + 2 \times 4$ から計算します。

()の中を先に計算する。

$$70 - (13 + 2 \times 4)$$

② かけ算やわり算は、たし算やひき算より先に計算するので、 $13 + 2 \times 4$ では、 2×4 から計算します。()の中の計算が終わったら、残りの計算をします。

かけ算から先に計算する。

$$70 - (13 + 2 \times 4) = 70 - (13 + \overset{\text{①の答え}}{8})$$

$$\underbrace{\hspace{1.5cm}}_{\text{②}} = \overset{\text{②の答え}}{70 - 21}$$

$$\underbrace{\hspace{2.5cm}}_{\text{③}} = \overset{\text{③の答え}}{49}$$

()を使った式や、たし算やひき算と、かけ算やわり算がまじった式では、計算のやくそくを使って、計算する順番を考えることが大切です。